

第156回:ジャック・ヒギンズを知らない？

ちよいと古い話だが、1960年代にトリオ・ザ・パンチというお笑い三人組が人気を博した時期があった。リーダーは11年に亡くなった痩身異相の内藤陳、「おら、ハードボイルドだど！」というギャグが大当たりして一世を風靡した陳さんは冒険小説の大ファンであった。読書好きが嵩じ、新宿ゴールデン街に「深夜+1」というミステリー・ファンの集うバーを開店、筆者は80年代の一時期、その狭苦しいバーに通ったことがある。バーの店名がギャビン・ライアルの「深夜プラスワン」へのオマージュであるのは云うまでもない。

そのころ筆者は銀行から“流されて上海”の身であった。80年代の中国と云えば、進出を考える日本企業は未だ少なく、中国進出と云えば駐在員事務所の開設と顧客のアテンドが主たる業務であった。仕事はヒマだが、困ったことに遊ぶ場所がなかった時代である。ゴルフ場は西の青浦地区で青木建設が土地の造成を始めたばかりであったし、のちに中国各地で猖獗を極める紅灯の巷は遺憾なことに未だ存在しなかった。

そんな訳でマージャンとラオチュウの日々にも厭きてしまったので、ヒマつぶしの一策として上海日本人商工クラブの機関紙「上海」の編集メンバーに加えて貰ったのである。そのときの編集長が当時朝日新聞の上海支局長であった人気作家の伴野朗氏で、彼は出世作「五十万年の死角」から始まり、「蔣介石の黄金」、「上海スクランブル」等、中国を舞台にした冒険小説を得意とされていた。伴野編集長には毎度毎度原稿を真っ赤に添削されたものだが、そんなご縁で日本に一時帰国したとき、一足先に帰任されていた伴野さんにゴールデン街の「深夜+1」に連れて行かれ、内藤陳さんを紹介して貰ったことがあったのである。

その陳さんが83年に「読まずに死ねるか！」という冒険小説のエッセイ集を出版され、冒頭に「ジャック・ヒギンズを知らない？ 死んで欲しいと思う」と過激な見出しを付けて話題となったことがある。実は筆者も、恥ずかしながら本書を読むまでヒギンズを知らなかった。「読まずに死ねるか！」、通称「読ま死ね」シリーズは第5冊まで続くベストセラーになり、その書評第一号がジャック・ヒギンズの「脱出航路(Storm Warning)」である。ヒギンズといえば、第二次世界大戦のさなか、英国首相ウィンストン・チャーチルを拉致せよという特殊任務を受けたドイツ落下傘部隊の活躍を描く「鷲は舞い降りた(The Eagle has Landed)」が映画化された関係もあって日本では有名であるが、「脱出航路」はそれ以上の傑作である。

ネタバレにならぬ程度に内容を紹介しよう。ドイツの敗色が濃くなった1944年8月、ブラジルのベレン港を老朽帆船「ドイッチェラント」が出航する。祖国ドイツへ戻ろうとするのは船長と29人の乗組員、そして船客として乗り込んだ領事補夫妻に尼僧たち。しかし祖国までの8000キロの大西洋は既に联合国が制海権を握っている。船員たちは聯合軍の臨検に怯えつつ必死に古ぼけた帆船を操り、一步一步祖国に近づいて行く。そして、漸くキール港への到着に希望が見え始めたとき、最後の航路である英国北部沿いの大西洋上空に巨大な嵐が発生する。船員船客の必死の努力にも拘わらず、ちっぽけな帆船は大破して、暗礁へと流され「ドイッチェラント」に絶体絶命の危機が迫る。時あたかも対岸の英国ファード島には、戦争の力学に導かれ、各国の様々な人物が集まろうとしていた。不覚にも捕虜となったドイツ海軍の英雄のUボート(U235)艦長、ロンドン空襲に耐え抜いた米国人女医、戦傷が癒えるまで砲艇(MGB)を使った郵便配達をさせられている

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

アメリカ海軍中尉、英ファーダ島の救難艇の老船長、そしてユンカース(Ju88)を操縦するドイツ空軍の機長、彼らが一致協力して嵐に立ち向かい、「ドイッチェラント」の救出に向かうクライマックスは圧巻である。

戦争には悪役敵役がつきものだが、ステレオタイプの悪党として描かれがちなドイツ軍人を、豊かな血肉の通った人物として描いたところに、欧米人作家としての知性と度量、そして欧米人が共有する騎士道精神への敬意が伺えるのである。「鷲は舞い降りた」の主人公シュタイナ中佐の描き方も同様で、ベルリンへの凱旋途中、プラハ駅で名も知らぬユダヤ人の少女を SS から助けたがために、彼の部隊は懲罰として生還の期し難い地獄の島に追いやられることになり、この佳話が主人公の魅力として小説に彩りを添えている。

戦争を嫌う現代人が、なぜ戦争映画に夢中になるかといえば、戦争と云う異常な状況下において、時に敵味方の区別なく発揮される自己犠牲や勇気、博愛精神に魅力を感じるからである。「史上最大の作戦」、「眼下の敵」といった戦争映画に登場する欧米各国の軍人は、みな戦争の虚しさを感じ、悩みつつも祖国のために戦う血の通った人間として描かれている。

言いたくはないが、それに引き換え、共産主義者の作る映画はいただけない。制作目的が芸術の追及や人間性の描写ではなく、「外部に敵を作り出すことによって内部の団結を図る」政治プロパガンダにあるからだ。だから中国の戦争映画に登場する人物は、立派で、清潔で、尊敬に値する中国人(国民党は別だ)と、良心の欠片もない悪魔の日本軍人のみである。典型的なステレオタイプだ。日本を嫌う歴史背景は分かるが、抗日ドラマ「借槍」や今年の正月映画「一九四二」に登場する帝國陸軍の軍人は、血も涙もない殺人鬼として描かれている。中国共産党宣伝部の指導でこんな映画やテレビドラマが出来上がり、これを観た中国の若者が日本嫌いになるのは当然だろう。かくも露骨な愛国教育・反日教育の構図のなかで、中国の繁栄が続けば、それも良いだろうが、こんな単純なトリックで国内の求心力が永遠に保てるだろうか。

これまで日中経済協力を邁進してきた身に不愉快な事件が重なるなか、伴野さんの「呉・三国志」を読み返しつつ、ふと内藤陳さんを思い出し、中国映画と対極をなすヒギンズの作品を紹介した次第である。そういえば陳さんが最も愛した冒険小説が三国志であった。「深夜+1」の常連で、友人同士でもあった伴野朗さんと北方謙三氏が、のちに三国志を執筆したのは偶然ではないだろう。両氏の三国志は素晴らしいが、共に長い。伴野三国志は文庫版で全10巻、北方三国志は更に長く全13巻である。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成25年2月14日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075%（税込み）（約定代金が260,869円以下の場合、3,150円（税込み））の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額（現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対して最大0.8400%（税込み）の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込（一部の投資信託は換金）手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840%（税込み）の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20%（税込み）（約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円（税込み））の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。